

2014 年スタディツアー

■日程・内容

8 月 4 日 (月) 08:00 バンコク スワンナプーム空港集合

08:30 バンコク・スワンナプーム空港発 メソトへ移動

12:00 道中にて昼食

17:00 メソト着

国境の橋・国境マーケット訪問

タイとビルマの国境に架かる橋へご案内します。

向こう岸のビルマの様子もご覧いただけます。

18:00 ホテルへチェックイン

19:00 夕食会

8 月 5 日 (火) 8:30 メータオ・クリニック訪問

クリニックの内部を見学し、JAM の現地での活動について説明します。

10:30 シンシア医師との座談会

シンシア医師に国境のクリニックの現状について伺います。

12:00 昼食

13:00 ワークショップ

JAM の小林潤代表による国際保健の入門ワークショップを開催します。

17:00 ホテル着

18:00 夕食

8 月 6 日 (水) 8:30 移民学校 Hope School 訪問

メータオ・クリニックと JAM が支援している農村地域にある移民学校を訪問します。

13:00 メソト市内にて昼食

15:00 ゴミ集積所に暮らす人々の地域を訪問

ゴミ集積所を住まいとし、運び込まれるゴミ集め売ることによって生計を立てている地域を訪問します。

17:00 ホテル着

19:00 夕食

8 月 7 日 (木) 終日 自由行動 国境の人々の日常に触れる事が出来ます。

市内観光、ビルマ・マーケットなどが楽しめます。

8 月 8 日 (金) 終日 難民キャンプ訪問 ※メラキャンプまたはウンピャンキャンプ

日本が難民として受け入れたカレン民族の住んでいるキャンプです。

18:30 夕食

8 月 9 日 (土) 9:00 振り返り・感想・まとめ

旅に関する質問をし、国境での最新の変化などを含め討議します。この座談を通して国境の現状の理解を深める事が出来ます。

11:00 メソト出発

12:30 昼食

19:00 スワンナプーム空港着、解散

2014 年スタディツアーに参加して 【東京事務局 佐藤 慈】

今年は学生・社会人を含む 11 名の参加者が集まりました。日本からの同行者として、当会からは、神谷と佐藤が参加させていただきました。短い期間ではありましたが、参加者の皆様、現地スタッフの田畑・鈴木と一緒にタイ・ミャンマー間の現実を見つめることができましたと思います。

◇1 日目 バンコクのスワンナプーム空港、ドンムアン空港にてスタディツアー参加者の皆様と集合し、ノックエアでメソト空港へ。メソト到着後に早速、国境の橋へ行きました。国境を渡る正規のルートはもちろんお金を払って橋を渡ることですが、川を渡って非合法に入国する人も少なくないのだそうです。

◇2 日目 午前中はメータオ・クリニックの見学、そしてシンシア先生との座談会でした。増築を重ねてできたメータオ・クリニックの敷地内は私には迷路のように感じました。外来の診察室や病棟、メンタルヘルス施設、義足制作のお部屋などを JAM の現地スタッフに案内していただき説明を受けました。座談会では参加者の質問を中心にシンシア先生がご経験やシンシア先生の考えをお話してくださいました。最後はみんなで記念写真をパチリ。午後は、当会代表の小林が合流し、国際地域保健入門のワークショップを実施。リバタリアンとコミュニタリアンについてのお話や、日本人が途上国にてできることとは何かなどを参加者の皆様、JAM スタッフで考えました。

◇3 日目 移民学校の HOPE スクールと Sky blue 校を訪問。日本から持ち寄ったオモチャを使って子ども達と遊びました。お昼ご飯前に子ども達は壁画の手洗い方法に従って上手に手を洗っていました。そして、午後はゴミ山へ。私達がメソトに来てから捨てたゴミもここにやってくるのでしょうか？ゴミ山の高さが昨年よりも高くなっているとのこと。このゴミ山でお金になるものを見つけ、それらを売って生計を立てている人達がゴミ山の本当にすぐそばに住んでいるのです。夜はメータオ・クリニックの元職員で現在は画家のマウンマウンティンさんのお誘いを受けて、ご自宅で料理を振る舞っていただきました。

◇4 日目 自由行動日。参加された方の多くが国境の橋を渡り、ミャンマーに入国しました。他にもビルマ人マーケットを楽しむなど、それぞれ自分のペースでこの日を過ごしました。自由行動日の設定は好評でした。

◇5 日目 多くの参加された方が関心を持っていた難民キャンプへの訪問。メラキャンプとウンピアムキャンプに分かれて訪問しました。国境近くに公式の難民キャンプが設置されてから約 30 年、キャンプとはいえども、そこはまさに町でした。もちろん十分ではありませんが、海外のドナーによって支えられている医療施設があり、子ども達への学校はもちろん、職業訓練の場、図書館がありました。タイの政権が軍事政権に変わり、難民の方の出入りが厳しくなっているようです。いつまで彼らは難民でい続けなければならないのでしょうか。

◇6 日目 最終日はこのスタディツアーの感想や学びを皆で共有しました。メソトを発つ前に、建設中の新しいメータオ・クリニックを見学しに来ました。この新施設は日本政府も支援をしています。来年のスタディツアーでは、新施設を見学することになるとのことです。以前にツアーに参加された皆様も、来年のスタディツアーに参加されてはいかがでしょうか。